



平成27年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年8月8日

上場会社名 株式会社Misumi 上場取引所 福
 コード番号 7441 URL <http://kk-misumi.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 岡 恒憲
 問合せ先責任者 (役職名) サポート本部長 (氏名) 末吉 茂樹 (TEL) 099-260-2213
 四半期報告書提出予定日 平成26年8月13日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年3月期第1四半期の連結業績 (平成26年4月1日～平成26年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第1四半期	15,177	1.0	25	△59.0	100	△15.5	57	△10.5
26年3月期第1四半期	15,028	5.4	62	△75.3	118	△66.0	64	△68.9

(注) 包括利益 27年3月期第1四半期 192百万円(47.5%) 26年3月期第1四半期 130百万円(△26.8%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第1四半期	9.53	—
26年3月期第1四半期	10.64	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27年3月期第1四半期	35,267	14,395	40.3
26年3月期	35,058	13,967	39.3

(参考) 自己資本 27年3月期第1四半期 14,203百万円 26年3月期 13,781百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	15.00	—	15.00	30.00
27年3月期	—	—	—	—	—
27年3月期(予想)	—	15.00	—	15.00	30.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年3月期の連結業績予想 (平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	34,946	12.7	268	43.4	361	19.6	218	23.5	35.93
通期	74,599	10.3	996	16.1	1,178	△4.8	658	25.3	108.43

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
新規 - 社(社名) 、除外 - 社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	27年3月期1Q	6,100,503株	26年3月期	6,100,503株
② 期末自己株式数	27年3月期1Q	30,669株	26年3月期	30,669株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	27年3月期1Q	6,069,834株	26年3月期1Q	6,069,834株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における我が国経済は、政府による経済政策を背景に、景気は緩やかな回復基調にあるものの、消費税率の引上げに伴う駆け込み需要の反動による影響が見られました。また、当社グループの営業基盤である南九州においては、雇用情勢や投資関連の一部が持ち直しているものの、消費税率の引上げに加え、ガソリン価格の高止まりや電気料金の値上げの影響等から、消費マインドの低下が見られるなど、経営環境としては厳しい状況にありました。

このような状況の中で当社グループは、主力のエネルギー事業において、販売力の強化を図るとともに、その他事業においては、不振部門の立直しや接客・サービス力の強化を図るなど、事業全体における収益性の向上に努めました。また、将来に向けて地域社会への貢献と収益基盤の強化を目的として、環境にやさしいクリーンエネルギーである小水力発電事業への取り組みを新たに開始いたしました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は151億77百万円（前年同四半期比1.0%増）、経常利益は1億0百万円（前年同四半期比15.5%減）、四半期純利益は57百万円（前年同四半期比10.5%減）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

1 エネルギー

「エネルギー」セグメントにつきましては、石油部門において、SSでのENEOSカードやTカードの新規発券を増やし、イベント等による利用促進を図ることで、燃料油の増販に努めました。また、安定した収益を獲得するために、積極的な提案活動による油外商品の拡販に取り組みました。

ガス部門においては、原材料費調整制度等の見直しによる収益の改善を図るとともに、ガス関連商品の購入による「Tポイント付与」の認知度を上げることで、新規顧客の開拓に努めました。

以上の結果、売上高は121億90百万円（前年同四半期比2.3%増）、営業利益は54百万円（前年同四半期比63.4%減）となりました。

2 ライフスタイル

「ライフスタイル」セグメントにつきましては、カルチャー部門において、季節のおすすめ商品や話題商品などの特集コーナーをいち早く設置し、顧客ニーズに対応するとともに、シニア向けの販促キャンペーンの実施や来店頻度のアップを目的とした割引クーポンの配布を行うなど、集客力の向上に努めました。また、オプシアミスミでは、施設一体となったイベントを開催するなど、来店促進活動の強化を図りました。

自動車部門においては、新型車の増販を図るとともに、タイヤ販売における新規取引先の開拓と新商品の販売に注力し、収益確保に努めました。

ホームライフ部門においては、新しいCM等による新築やリフォームの認知度向上を図るとともに、地震に強く、省エネ・創エネ設備を取り入れたスマートハウスの構造見学会や完成見学会を定期的実施するなど、新しい暮らしの提案による受注獲得に努めました。

以上の結果、売上高は17億93百万円（前年同四半期比4.9%減）、営業利益は66百万円（前年同四半期比4.9%増）となりました。

3 フード&ビバレッジ

「フード&ビバレッジ」セグメントにつきましては、外食部門において、メニュー構成の見直しや品質管理とホスピタリティの強化を図るなど、お客様満足度の向上に努めるとともに、お得なクーポンチラシ等の販促活動による新規顧客の開拓と来店頻度のアップに努めました。

ミネラルウォーター部門においては、新規取引先の獲得や配送コストの圧縮に努めるとともに、新たに「高牧の森の水」を使用したプレミアム焼酎「三寿美（ミスミ）」の販売を大都市圏の限定飲食店にて開始し、水ブランドの向上を図っております。

以上の結果、売上高は11億93百万円（前年同四半期比3.0%減）、営業利益は74百万円（前年同四半期比149.0%増）となりました。

（上記金額には、消費税等は含まれておりません。）

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べて2億8百万円増加し、352億67百万円となりました。これは主に、受取手形及び売掛金が減少した一方、現金及び預金や投資有価証券、退職給付に係る資産（固定資産の投資その他の資産「その他」）が増加したこと等によるものであります。

負債は、前連結会計年度末に比べて2億19百万円減少し、208億71百万円となりました。これは主に、長期借入金が増加した一方、支払手形及び買掛金が減少したことと、退職給付債務及び勤務費用の計算方法の変更に伴い退職給付に係る負債が零になったこと等によるものであります。

純資産は、前連結会計年度末に比べて4億27百万円増加し、143億95百万円となりました。これは主に、退職給付債務及び勤務費用の計算方法の変更に伴う影響額を期首利益剰余金に加減したこと等により、利益剰余金が増加したことと、その他有価証券評価差額金が増加したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想は、平成26年5月9日発表から変更ありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

記載すべき事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

「退職給付に関する会計基準」（企業会計基準第26号 平成24年5月17日。以下「退職給付会計基準」という。）及び「退職給付に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第25号 平成24年5月17日。以下「退職給付適用指針」という。）を、退職給付会計基準第35項本文及び退職給付適用指針第67項本文に掲げられた定めについて当第1四半期連結会計期間から適用し、退職給付債務及び勤務費用の計算方法を見直し、退職給付見込額の期間帰属方法を期間定額基準から給付算定式基準へ変更するとともに、割引率の決定方法を従業員の平均残存勤務期間に近似した年数に基づく割引率から退職給付の支払見込期間ごとに設定された複数の割引率を使用する方法へ変更いたしました。

退職給付会計基準等の適用については、退職給付会計基準第37項に定める経過的な取扱いに従って、当第1四半期連結会計期間の期首において、退職給付債務及び勤務費用の計算方法の変更に伴う影響額を利益剰余金に加減しております。

この結果、当第1四半期連結会計期間の期首の退職給付に係る資産（固定資産の投資その他の資産「その他」）が505,546千円増加し、利益剰余金が322,428千円増加しております。また、当第1四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響はそれぞれ軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,921,904	5,239,739
受取手形及び売掛金	6,621,040	4,959,298
商品及び製品	2,835,828	2,941,857
仕掛品	35,181	33,186
原材料及び貯蔵品	46,992	40,467
その他	589,381	563,698
貸倒引当金	△344,992	△337,581
流動資産合計	13,705,338	13,440,666
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	3,913,699	3,849,631
土地	12,315,596	12,315,596
その他(純額)	1,023,561	998,899
有形固定資産合計	17,252,857	17,164,127
無形固定資産		
	325,468	297,580
投資その他の資産		
その他	3,902,472	4,493,133
貸倒引当金	△127,508	△128,342
投資その他の資産合計	3,774,963	4,364,791
固定資産合計	21,353,289	21,826,499
資産合計	35,058,628	35,267,166
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,999,140	1,818,989
短期借入金	6,880,000	6,715,000
1年内返済予定の長期借入金	1,799,910	2,094,650
未払法人税等	346,679	63,553
賞与引当金	332,320	486,615
その他	1,482,295	1,353,070
流動負債合計	13,840,345	12,531,879
固定負債		
長期借入金	5,428,435	6,396,233
役員退職慰労引当金	756,500	760,000
退職給付に係る負債	150,539	—
その他	915,307	1,183,774
固定負債合計	7,250,781	8,340,007
負債合計	21,091,127	20,871,886

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,690,899	1,690,899
資本剰余金	1,646,341	1,646,341
利益剰余金	9,993,272	10,282,480
自己株式	△43,403	△43,403
株主資本合計	13,287,109	13,576,318
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	525,777	662,495
退職給付に係る調整累計額	△31,599	△35,539
その他の包括利益累計額合計	494,177	626,956
少数株主持分	186,213	192,004
純資産合計	13,967,501	14,395,279
負債純資産合計	35,058,628	35,267,166

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)
売上高	15,028,744	15,177,676
売上原価	12,284,340	12,541,734
売上総利益	2,744,403	2,635,941
販売費及び一般管理費	2,681,987	2,610,347
営業利益	62,416	25,594
営業外収益		
受取利息	1,082	1,010
受取配当金	17,364	19,205
受取賃貸料	36,558	36,397
その他	61,444	71,763
営業外収益合計	116,450	128,376
営業外費用		
支払利息	35,333	32,656
賃貸費用	14,448	15,868
その他	10,411	5,194
営業外費用合計	60,193	53,719
経常利益	118,673	100,251
特別利益		
固定資産売却益	1,262	3,622
特別利益合計	1,262	3,622
税金等調整前四半期純利益	119,936	103,873
法人税、住民税及び事業税	84,556	60,251
法人税等調整額	△30,726	△16,472
法人税等合計	53,830	43,779
少数株主損益調整前四半期純利益	66,106	60,094
少数株主利益	1,527	2,266
四半期純利益	64,578	57,828

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	66,106	60,094
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	64,681	136,718
退職給付に係る調整額	—	△3,939
その他の包括利益合計	64,681	132,778
四半期包括利益	130,787	192,873
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	129,259	190,607
少数株主に係る四半期包括利益	1,527	2,266

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第1四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年6月30日)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第1四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	エネルギー	ライフ スタイル	フード& ビバレッジ	計		
売上高						
外部顧客への売上高	11,912,295	1,885,819	1,230,629	15,028,744	—	15,028,744
セグメント間の内部 売上高又は振替高	13,805	41,245	6,090	61,141	△61,141	—
計	11,926,101	1,927,064	1,236,719	15,089,885	△61,141	15,028,744
セグメント利益	148,831	62,990	30,025	241,847	△179,431	62,416

(注) 1. セグメント利益の調整額△179,431千円には、セグメント間取引消去2,278千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△181,709千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整しております。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	エネルギー	ライフ スタイル	フード& ビバレッジ	計		
売上高						
外部顧客への売上高	12,190,548	1,793,337	1,193,789	15,177,676	—	15,177,676
セグメント間の内部 売上高又は振替高	7,678	16,454	7,427	31,560	△31,560	—
計	12,198,227	1,809,792	1,201,217	15,209,236	△31,560	15,177,676
セグメント利益	54,531	66,055	74,759	195,345	△169,750	25,594

(注) 1. セグメント利益の調整額△169,750千円には、セグメント間取引消去2,146千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△171,897千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整しております。